



第400号

2020年 4月

〒461-0004 名古屋市東区葵2丁目6-35 カトリック名古屋教区広報委員会 「教区ニュース」編集部 電話 (052) 935-2223 FAX (052) 935-2254 印刷所 株式会社 荒川印刷 毎月第1日曜日発行

4月5日

世界青年の日

4月10日

聖地のための献金

教区ホームページ

福音のひびき

4月の説教者

5日 受難の主日 太田 実 (名古屋教区)

12日 復活の主日 ビリスブッレ・ジュード (豊橋教会)

19日 復活節第2主日 山野聖嗣 (港教会)

26日 復活節第3主日 鄭 有喆(ジョン・ユチョル) (美濃加茂教会)

教区の皆さま

性虐待、性暴力、ハラスメント防止決意表明について

カトリック名古屋教区 司教 松浦悟郎

主の平和 今日、四旬節第二金曜日は、日本司教団が定めた「性虐待被害者のための祈りと償いの日」です。性虐待被害者への償いの心と祈りをこめて、名古屋教区としての決意表明をします。

日本の司教団は、この間、聖職者による児童性虐待問題に対して強い決意をもって取り組むことを表明しさまざまな対策を取ってきました。こうした中、2019年10月3日の司教総会において

カトリック名古屋教区 性虐待、性暴力、ハラスメント防止決意表明

私たちがカトリック名古屋教区は、人間の尊厳を踏みにじる性虐待、性暴力、あらゆるハラスメントを許さず、教会でこのようなことを二度と起さないうように決意し、防止に取り組むことを表明します。

日本のカトリック司教団は、2002年にアメリカで大きく報じ

て、日本の16教区すべてが、性虐待、性暴力、あらゆるハラスメントを防止する決意表明をするに決まりました。その決意表明は、単に司教が作って出すということではなく、教区全体の表明になるように、しかるべきプロセスを踏んだうえで発表するというものでした。名古屋教区として、私は2019年10月29日付けの手紙ですべての小教区、修道会に決意表明を送り意見を募りました。

なお、この決意表明は、りわけ罪深いものです(子どもへの性虐待に関する司教メッセージ)2002年6月21日。更に、「子どもたちに危害を加えるような者には、司祭職や修道生活での居場所はありません」との教皇ヨハネ・パウロ二世の言葉を引用し、この問題に厳しい態度で臨むことを表明しました。

私たちが名古屋教区は、こうした方針を受けて、教区の中に事件が起こった場合に対応する「セクシャルハラスメント対応委員会」を立ち上げ、またこの問題を直接訴えることができるようにホットラインを設けました。また、教区全体で取り組む意識を育てるために、司祭たちの研修や被害者のための「祈りと償いの日」(四旬節第二金曜日)に合わせた企画を継続的に行っていきます。

私たちが名古屋教区は、こうした方針を受けて、教区の中に事件が起こった場合に対応する「セクシャルハラスメント対応委員会」を立ち上げ、またこの問題を直接訴えることができるようにホットラインを設けました。また、教区全体で取り組む意識を育てるために、司祭たちの研修や被害者のための「祈りと償いの日」(四旬節第二金曜日)に合わせた企画を継続的に行っていきます。

か この決意表明は、神と人々(教会内外)の前に私たち自身の決意を公に表明するものです。その背後には、教会の中で性的な被害を受けたすべての被害者に対する謝罪と二度と起さないうことを償っていく意味が込められています。この決意文は、ホームページを通して公表し、外部からも知ることができるようになっています。

3. 具体的な取り組みについて 事件への対応として、名古屋教区では、事が起こった時にすぐ通報できる「ほっとライン」を設け、そのパンフレットをすべての小教区に配布しています。*通報があった時、まずセクシャルハラスメント対応委員会が問題に対する対応の仕方を検討します。具体的には被害者と加害者の双方から事情を聴

私たちが教会の一員として、これまで聖職者による性虐待、性暴力によって深く傷つけられた人々に謝罪するとともに、今後、このようなことを決して起こさないうことを決意し、神が一人一人に与えて下さった尊厳、特にもつとも弱い立場に置かれていた人々を守るために全力をつくします。

2020年3月13日 カトリック名古屋教区 司教 松浦悟郎 司祭・助祭団、男女修道会、信徒一同

「教父」から「教皇」へ 奉献文で呼称変更!

現行の「ミサ典礼書」掲載の第一「第四奉献文の中の」とりなしの「祈り」で、「わたしたちの教父」となっている部分が、今後は「わたしたちの教皇」(「法王」から「教皇」)に変更となる。日本カトリック典礼委員会が2月の常任司教

全世界の教会からローマ教皇庁に集められる献金は、現在、イスラエル、ヨルダン、キプロス、パレスチナ自治区内にある数多くの巡礼所や聖堂などの維持管理に充てられるほか、聖地の貧しい兄弟のための福祉施設や教育施設の運営、奨学金や生活保護などのために使われる。

金沢・卯辰山 殉教者ミサ

4月26日(日) 14:00~ 金沢・卯辰山 ミカエル松浦悟郎司教 雨天の場合は金沢教会でミサが行われます。 カトリック名古屋教区 宣教司牧評議会 宣教司牧評議会事務局 ☎052-936-8366

聖香油ミサのご案内

名古屋教区の司教団が司教と一致して捧げるミサ。ミサの中では司祭の約束の更新が行われ、叙階、誓願の金銀祝も行なわれる。また秘跡の執行に用いる聖香油の聖別、病者の油、洗礼志願者の油の祝福も行われます。 4月8日(水) 10:30~ 名古屋カテドラル 大聖堂(布池教会) 司式 松浦悟郎司教 主催 カトリック名古屋教区

世界青年の日 4月5日(受難の主日)

1984年、「あがないの特別聖年」に聖ヨハネ・パウロ二世教皇は、聖ペトロ大聖堂に大十字架(3.8m)を設置した。そして国連が定めた国際青年年の1985年、受難の主日に、青年たちはこの十字架とともに教皇のもとに集まった。教皇はこの年、受難の主日を毎年「世界青年の日」として祝うように定め、2~3年に一度は、世界中の青年が教皇と出会うワールドユースデー(WYD)が開かれるようになった。2019年には中米パナマで開催された。

聖地のための献金 4月10日(聖金曜日)

全世界の教会からローマ教皇庁に集められる献金は、現在、イスラエル、ヨルダン、キプロス、パレスチナ自治区内にある数多くの巡礼所や聖堂などの維持管理に充てられるほか、聖地の貧しい兄弟のための福祉施設や教育施設の運営、奨学金や生活保護などのために使われる。

神言神学院で5人の助祭叙階式

神言修道会の5人の神学生が3月14日、神言神学院大聖堂(名古屋市中)で、名古屋教区長ミカエル松浦司教の司式のもと、助祭叙階の恵みを受けた。

式は、新型コロナウイルス感染症防止のため簡略化と時間短縮のもと、司祭、神学生、受階者の親族、友人たちが見守る中、荘厳に行われた。

松浦司教は訓話で、「助祭の役目である朗読奉仕者、祭壇奉仕者という奉仕職を単に司祭職に向かうステップととらえないようにしてほしい」と示唆した。簡単に「奉仕」と

使うが、その原点は、キリストが神でありながら人々を救うために仕える者になったことであると述べ、奉仕職の重大さを強調した。

叙階者は以下の5人。
 マリオ・フランシスコ・チェメ・オワ・ポア
 マウリアヌス・ファレンティノ・ウィレム・ダクニャ
 森智宏
 篠崎エジルソン
 ジョナサン・レイ・ピリアコルタ

なお、助祭に叙階された5人は司祭叙階を目指して更なる研鑽を積むことになっている。



向かって左からマリオ・フランシスコ・チェメ・オワ・ポアさん、ジョナサン・レイ・ピリアコルタさん、松浦司教、マウリアヌス・ファレンティノ・ウィレム・ダクニャさん、森智宏さん、篠崎エジルソンさん

新型コロナウイルスへの感染対策で

主日のミサ(3月8日、15日)が中止に!

新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、名古屋教区でも3月8日・15日の小教区の主日のミサの他、さまざまな行事が中止となった。

中止などの措置をとった主な行事を挙げると、世界祈禱日(3月6日、布池教会)が中止、性虐待被害者のための償いと祈りの集い(8日、平針教会)が松浦司教司式のミサだけに縮小してミサ後の集いは中止、東日本大震災追悼・復興祈願(11日、布池教会)が中止、司祭・修道者・奉

献生活者金銀祝賀ミサ・パーティー(20日、布池教会)が延期に決まった。また中高生会主催・中高生フォーラム(30日・4月1日、教区センター)中止、青年委員会主催WYD in 名古屋(3月21・22日、多治見ログハウス)延期かつ規模縮小などとなっている。

こうした対応をとるにあたって、松浦司教からは3回にわたる対策指示が出されたが、その方針に特徴的だったのは、医学的観点からの感染症対策だけではなく、人権

新型コロナウイルスに関する第四次お知らせ

＋ 主の平和 教区司教 松浦悟郎

先日、教区として3月8日と15日の二回的主日ミサを中止するという決定をしました。この中止に当たって、いくつかの小教区では司祭たちがミサをyoutubeで配信したり、日曜日の一定時間に聖体顕示をしたり、別の機会に信徒とともに祈る機会をもつなど、また、各家庭でも普段あまりやっていた家族で祈る機会を持っていたなどの声もあり、いろいろな工夫をして下さったよう

でうれしく思います。さて、今後の対応についてですが、教区として臨時の顧問会を開き、以下のように決定しましたのでお知らせします。

1. 3月22日と29日的主日ミサは中止とします。

*平日のミサは、以前の方針と同じように、小規模の場合、通常通り行ってください。司祭たちは、夜も含めてできるだけ平日のミサを行い、信徒たちがミサにあずかれる機会を増やすようお願いいたします。ただし、以前の通達と同じように、状況によっては主任司祭の判断で中止することもできます。

*主日にはできるだけ聖堂を開けておき、例えば、一定時間、祭壇にろうそくを灯すなどして、信徒が自由に祈ることができるよう工夫をしてください。

2. 4月からは、通常の状態に戻していきます。現在、学校をはじめ、さまざまな場での自粛が行われているのは、感染の広がりを抑えピークを遅くするための対策として要請されたものです。このことにより、感染者をゼロにするということではなく、医療崩壊を起さないことや薬を含めた対策を進めていくため、緊急措置の期間をすつと続けるのではなく、慎重さとさまざまな配慮をしながら、徐々に通常の生活に戻していくことになりそうです。そのためには、一律のやり方ではなく、それぞれの現場の状況に合わせて対策や配慮が必要となつてきます。そこで、各小教区では3月中旬に小教区評議会を開き、4月からの主日ミサや活動のあり方を検討して下さい。評議会を開催できない場合は、信徒代表や役員、信徒と共に検討してください。

3. ミサの中では、すでに提案した以下の方法や独自の工夫をしていただけたいと思います。①暖房が不要となる季節になる

ので、できるだけ窓を開けて換気を良くしましょう。②これまで通り教会では手洗い、咳エチケットに配慮し、舌での拝領を避けて下さい。特に司祭、奉仕者はミサの前に手洗いを徹底して下さい。③パンとぶどう酒の奉納はせずに、あらかじめ祭壇に準備するようにします。④4月5日(受難の主日)のミサでは聖歌を歌わずに静かに唱えるなど、状況に合わせて工夫して下さい。復活徹夜祭からは、配慮しながらも聖歌を歌うことも含めた「喜びを表す典礼」を考えていただければと思います。⑤体調のすぐれない方、特に高齢の方で心配な方は、引き続き主日ミサのつとめを免除します。自宅で心を合わせてお祈り下さい。⑥例えば、4月以降のある一定期間、逆に主日のミサを増やし、信徒の参加を分散することも考えられるでしょう。

最後に 今回の決定で、主日のミサが4回にわたって中止となりました。私たちがこれまであまり経験しなかった事態ですが、この機会をぜひ私たちの信仰のあり方、人としての生き方、社会のあり方などを見直し深める機会にできればと思います。今まで、当たり前と思っ

ていたことが崩れていったとき、私たちはどういう心理状態になり行動するのでしょうか。何が見えてきたのでしょうか。いつか、今回の体験で気づいたことを分かち合いたいと思います。国内外を問わず、新型コロナウイルスに感染した人たちのため、また、さまざまな対策によってかえって生活困窮の中にある人たち、いろいろな意味で命の危機にある人たちのために心から祈りたいと思います。

東日本大震災・福島原発事故、災害支援金の報告

★発災時よりカリタス福祉委員会へ振込された支援金のご報告
 ・2011.3.17(発災後募金開始)から 2020.2.29までの合計 31,521,520円

☆2020年2月 振込された支援金
 2件 149,447円 (振込手数料引き去り後の金額)
 振込ご協力いただいた小教区 春日井教会 金沢教会

★名古屋教区の支援金は
 大阪教会管区震災復興支援プロジェクト、福島での原発被災支援活動されている団体を中心に支援しています。引き続き皆様のご支援、ご協力をお願い致します。
 ・毎月の支援状況は名古屋教区報で報告。
 ・各ベースの震災支援状況は仙台教区サポートセンター活動日記のHPに掲載。
<http://caritasjapan.jugem.jp>



支援金振込先
 口座番号：00820-5-137456
 名義：カトリック名古屋教区カリタス福祉委員会
 ※「東日本大震災・災害支援金」と募金の意向を記入願います

ご連絡・問合せ先
 名古屋教区カリタス福祉委員会
 電話 052-852-1426
 FAX 052-852-1422

行事中止のお知らせ

5月3日・4日・5日に予定していた「小牧ワイナリー春の葡萄酒祭」は、新型コロナウイルス感染拡大防止に向け、またご来場のお客様および関係者の健康・安全面を第一に考慮し、行事を中止します。また、5月24日の「第35回わだちまつり」も同様に行事中止とします。
 問合せ カリタス福祉委員会 ☎052-841-5554 担当 村上

すべてをのちを守るため、

第51回典礼研修会

教区典礼委員会(ブレンドン・ケレハ委員長)主催による第51回典礼研修会が2月11日、南山教会で開かれ、「みことばの宴」をテーマにことばの典礼と朗読奉仕について学んだ。講師は日本カトリック典礼委員で上智大学でも典礼学を教える石井祥裕さん。石井さんはまた、オリエンズ宗教研究所で主日のミサのパフレット「聖書と典礼」の編集長も務めている。研修会の参加者は70人を超え、遠くは福井からの参加者もあった。

公会議前の背面ミサにさかのぼって今日の対面ミサの成り立ちの経緯から始まり、奉仕にあたってのヒントや心がけなどを学んだ。コンパクトにまとめた資料とていねいな解説、適度なユーモア、そしてパフレット「聖書と典礼」の利便性や意図などにもふれた。

「私たちが日常的に口にする「アーメン」についての印象的な解説が、この日の講義の締めくくりとなった。「アーメン」はたいへい「はい、その通りです」と認識されているが、どのような場面で、どのような言葉に招かれて使われるかによって、ニュアンスが微妙に変わるのだという。「まさに、本当に」などの語義からすれば、たとえば栄光の賛歌の締めくくりでは「その通りです」というにとどまらず、「まさに私たちが今、神の栄光を賛美します」との感動さえ伴った言葉であると言えそうだ。「アーメン」をもっとていねいに、大切に、思いを込めて口にしたいものだ。

教区典礼研修会は第41回から「Populo Congregatio(ポプロ・コングレガート)会衆が集まる」とをテーマとしてきた。これはミサにおける信徒の奉仕の多様性と必要性を深く知るための取り組みだ。今回はこのシリーズの5回目に当たる。現在、日本の典礼委員会は信徒の奉仕に関する手引書の編さんに取り組んでおり、石井さんからはこの動向についても話があった。



ブレンドン・ケレハ神父



典礼学を教える石井さん

聖霊会・神言会J.P.I.C. 教区正義と平和委員会 共催勉強会

「近代オリンピックの理念とその現実」

聖霊会・神言会J.P.I.C.・教区正義と平和委員会共催による2019年度のシリーズ勉強会「21世紀において必要とされる和解と協力」の第4回が1月26日、聖霊病院ホールで開かれた。「オリンピックの理想」をテーマとし、講師には名古屋学院大学の近藤良孝教授を迎えた。

「オリンピックの理念とその現実」について、その光と影とを語った。以下、その要約である。

紀元前9世紀から古代オリンピックはオリンピアの神々への宗教的祭典として4年ごとに開かれ、開催期間中は戦争も休戦とされた。オリンピック復興を唱えたクーベルタンは、世界平和を究極目標とする近代オリンピックを1896年アテネで開催した。

オリンピックの目的はあくまでも世界平和の実現であって、他の運動競技大会、世界選手権、ワールドカップなどのように、最も優れた選手・チームを決めることではない。それはクーベルタンの有名な言葉「オリンピック大会で重要なことは勝つことではなく参加することである」にも示されている。参加とは、選手、監督、観客など全員でオリンピックをつくることであり、したがってオリンピアン(オリンピック出場経験者)はすべて世界の平和大使なのである。

また「人生で重要なことは、勝利することではなく、闘うことである。己を知り、己を導き、己に打ち勝つことが、競技者の義務であり本質である」とも言われるように、オリンピックは政治的経済的利用によって墮落崩壊の道をたどっている。

たとえば、勝利至上主義、国旗掲揚による国威発揚、それに拍車をかけるプロによるメダル獲得競争、そのための薬物による人体改造などである。また、大会運営、競技場建設に莫大な費用がかかるため、選手よりも放送権料を支払う放送局の都合を優先する日程策定の結果、東京では酷暑の真夏開催となったのである。

最後に講師は「このような影のあるオリンピックだが、巨額な国民の税金を使う以上、本来の崇高な理念つまり世界平和実現のための大会となり、各選手の克己によるパフォーマンスを楽しむ賢い観客になりましょう」と勧めた。

2019年度の4回の勉強会は、フランシスコ教皇のメッセージ「人類共通の家である地球の悲鳴に耳を傾け、それを保全せよ」(回勅「ラウダー・ト・シ」)に依って、現代世界の紛争、地球温暖化、憎悪による分断、格差拡大による貧困増加などの解消には人間と自然の「和解と協力」が必要であることの認識を目指してきた。(教区正義と平和委員会・竹谷基)

よりよい未来をひらくため

第29回 聖霊病院ボランティア基礎講座

聖霊病院ボランティア基礎講座を開催します。聖霊病院のボランティア活動に興味がありましたらこの機会にご参加ください。

- 対象者
1. 当院のボランティア活動についてお知りになりたい方
 2. これから当院でボランティア活動を希望される方
 3. 当院でボランティア活動をしている方で、まだ受講されていない方
 4. 当院の「ホスピスボランティア講座」の受講を希望される方
- 定員 20人(定員に達し、ご参加いただけない場合のみご連絡します) 日程詳細は、チラシをご覧ください。

申込み締切 4月13日(月)
第16期聖霊病院ホスピスボランティア講座及び第29回ボランティア基礎講座の問い合わせは、下記まで。

第16期 聖霊病院ホスピスボランティア講座

ホスピス聖霊でボランティア活動を希望される方に講座案内を配布中。以下の日程で開催。

- 定員: 16人(定員になり次第締め切り)
場所: 聖霊病院二号棟アーノルド館4階第1・2会議室
とき: パフレットをご覧ください。火曜日13:30~16:00
講義: 20時間(基礎講座を修了していることが条件。未受講の方は必ず参加)
聖霊病院においてボランティア体験: 1年間60時間以上。基礎講座の詳細はパフレットをご覧ください。

- 申込み締切 4月13日(月)
備考: 第29回ボランティア基礎講座(2日間)は下記の通り。詳しくは第28回ボランティア基礎講座案内パフレットをご覧ください。なお、ホスピスボランティア講座参加希望の方は一緒にお申し込みください。
1日目 4月22日(水) 13:30~16:00
2日目 4月23日(木) 10:00~16:00

問合せ・申込み 〒466-8633 名古屋市昭和区川名山町56 聖霊病院 カトリック社会事業室 ☎052-832-1181(代) 担当: 矢沢・村木

「第44回日本カトリック映画賞」決定

放送、映画、視聴覚メディアに携わるカトリックの国際的な団体 SIGNIS (世界カトリックメディア協議会=本部ブリュッセル)の日本組織 SIGNIS JAPAN (会長 土屋至)は2019年度の「日本カトリック映画賞」に、劇映画「こどもしよくどう」《日向寺太郎監督作品 93分》を決定したと発表した。

6月6日(土)13:00から東京・なかのZERO大ホールで授賞式と上映会を行う。当日は日向寺監督と晴佐久昌英神父(シグニスジャパン顧問)とのトークショーが予定されている。
問合せ SIGNIS JAPAN 事務局 東京都港区赤坂8-12-42 女子パウロ会内 事務局長 町田雅昭 ☎080-3255-8235

初土曜日・ロザリオの集い

- 日時 毎月第1土曜日 13:00~
場所 カトリック押切教会 名古屋市西区名西1
司祭 島袋幹男神父、他
スケジュール
13:00~ 聖体賛美式・告解・ロザリオの祈り
14:00~ ミサ
15:00~ 聖母マリアの汚れなき心への奉獻の祈り
15:30~ お茶タイム
主催 ロザリオの集いの会
問合せ 高木光男 ☎090-5451-4775

教皇訪日司教団公式答礼 巡礼の中止のお知らせ

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、本年6月に予定されていた下記の答礼巡礼はすべて中止となりました。(カトリック中央協議会 HP3月13日付け発表)
Aコース: 司教団公式答礼巡礼 ローマとアッシジ巡礼8日間
Bコース: 司教団公式答礼巡礼 ローマとフランス聖地巡礼11日間
Cコース: 司教団公式答礼巡礼 ローマとルクセンブルク・ケルン巡礼10日間

名古屋教区ニュースに原稿をくださる皆様へお願い

読みにくい漢字、聞いてわからない言葉をさけて、やさしい表現を

名古屋教区ニュースは、カリタス福祉委員会のご厚意により、ボランティアによって音声化され、テープに吹き込まれ、視覚障がい者のもとに届けられています。

そのときに困ることとして、名前が漢字のみで記されている場合で、読み方が分からないことがあります。編集の段階、あるいは録音の段階で、電話等による問い合わせをしておりますが、原稿を出される前に、読みにくい漢字、何通りもの読み方がある漢字には、「ふりがな」をつけていただきますようお願い申し上げます。

また、名古屋教区には外国から来られた人、外国にルーツのある人も大勢います。そうした人々の中には、懸命に日本語を学んで、共に生活し、共にミサに参加しようと努力しておられる人たちもいます。しかし、日本語表記には何千という漢字が使われ、高い壁となっています。また、相手の立場によって使い分ける敬語も、コミュニケーションのハードルを上げています。そこで、できるだけ文学的、修辭的な表現は避け、伝えたい内容をシンプルにやさしく表現することを心がけたいと広報委員会では考えています。

みなさまのご協力をお願いします。 広報委員長 早川努神父

4月の教会暦

- 5日(日) 受難の主日(枝の主日)
8日(水) 聖香油ミサ
9日(木) 聖木曜日(主の晩さん)
10日(金) 聖金曜日(主の受難)(大斎)

5月の教会暦

- 3日(祝) 復活節第4主日
10日(日) 復活節第5主日
17日(日) 復活節第6主日
24日(日) 主の昇天(祭)

教区行事予定

- 4月
5日(日) 女子修道会・在俗会連盟総会
8日(水) 聖香油ミサ

教区行事以外の松浦司教予定

- 1日(水) 外キ協代表者会議
1日(水) 外キ協外国人住民基本法の制定を求める全国キリスト教連絡協議会

告知板

福信館便り
4月の炊き出し
2日(東山)
9日(布池、16日(聖霊・南山・樹の会)
23日(城北橋、30日(南山)
望の会、10日(長浦、17日(布池、24日(南山)

第2次人事異動(神言会)

教区内異動
南山・主任 パヴォル・フィラデルフイ(仙台教区より)

訃報

ルドヴィコ田中英次神父(フランシスコ会)



めぐみカン ガンバレ!!
十字架を担い
ゴルゴダの丘に向かう
途上でイエスは
何を思ったか

救いの主が
いのちを
救った
いのちが
救われた

エリエリ
レマサバクタン
たどる「人の子は
三日目に復活する」と
知っていたとしても
味わった絶望は
どれほどか

世界中が
おかしなことに
なっていく今
神に遣わされた
イエスが
自分の命を引き換えに
認めた「人」の
そのかけがえのない
価値をしばし黙想!

昨年未だでフランシスコ会富山修道院で司牧生活していたが、2月5日、東京の瀬田修道院で帰天。86歳。1934年1月8日東京生まれ。54年4月着衣。55年4月初誓願。58年4月8日莊嚴誓願。60年12月8日司祭叙階。帰天した2月5日は奇しくも修道名(日本二十六聖人のルドヴィコ茨木)の祝日だった。

子どもとともにささげる
名古屋教区インターナショナルミサ
International Mass with Children
テーマ「よりよい未来をひらくため」
日時 5月17日(日) 14:00~
会場 カトリック南山教会 at Catholic Nanzan Church

福信館 春祭り
“ホームレス炊き出し支援バザー”
日時 4月26日(日) 10:00~14:00
場所 福信館及び駐車場(カトリック布池教会東)

聖週間の主税町記念聖堂の聖体礼拝について
下記日時は聖週間と重なるために、主税町記念聖堂に於ける24時間礼拝は行われません。次週からは通常通り行われます。
日時 4月9日(木) 19:00~4月10日(金) 19:00

主にささげる24時間~聖体礼拝
主税町記念聖堂では月に2回、聖体礼拝が行われています。開始時と終了時にミサが行われます。どうぞご参列ください。
日時 毎月第2・第4木曜日 木曜日19:00~金曜日19:00
場所 主税町記念聖堂 名古屋市東区主税町3-33
主催 カトリック名古屋教区

歴史の中で育まれてきたキリシタン信仰を学び直す
キリシタン史勉強会
第8回 6月21日(日) 金沢教会 10:00ミサ後
6月27日(土) 主税町記念聖堂 13:00~
講師 三好千春さん 南山大学教授(援助修道会シスター)
テーマ「近代日本のカトリック教会」
名古屋会場 カトリック主税町記念聖堂 名古屋市東区主税町3-33
金沢会場 カトリック金沢教会 金沢市広阪1-1-54
申込み 不要。直接会場にお出かけください
参加無料(席上献金あり)
主催 カトリック名古屋教区殉教者顕彰委員会

建設費の返済に協力を
612件 29,480,990円
目標額 40,000,000円 (2月末)
達成率 約73.7%
郵便振替 00810-5-50605
加入者名 カトリック名古屋教区
通信欄に「福信館建設」と必ずご記入ください。

聖パウロ書院からお知らせ
ロザリオの祈り
4月はお休み
5月10日(日) 14時~(40分程度)
読書会
毎月第3土曜日 14:00~15:30
次回は4月18日(土)
図書『祈り その小道を歩く』
須永和宏 著
どなたでも参加できます。